

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No.77

(令和2年7月～12月期)

三重県商工会議所連合会
桑名商工会議所
四日市商工会議所
鈴鹿商工会議所
亀山商工会議所
津商工会議所
松阪商工会議所
伊勢商工会議所
鳥羽商工会議所
上野商工会議所
名張商工会議所
尾鷲商工会議所
熊野商工会議所

はじめに（総括）

県内 12 商工会議所では、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび令和 2 年下期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲59.6 と令和 2 年上期に比べ 8.7 ポイント改善しました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲66.9（前期▲72.8）、建設業▲42.3（前期▲57.3）、卸売業▲68.1（前期▲74.9）、小売業▲69.7（前期▲73.7）、飲食業▲83.9（前期▲93.2）、サービス業▲52.2（前期▲63.3）、交通運輸業▲67.3（前期▲81.1）、その他の業種▲57.3（前期▲55.5）と、その他の業種を除くすべての業種で改善しました。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲55.9（前期▲65.3）、中勢地区▲64.1（前期▲69.3）、南勢地区▲71.6（前期▲78.1）、伊賀地区▲57.5（前期▲67.7）、東紀州地区▲57.9（前期▲71.0）となり、すべての地区で改善しました。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲52.6 となり、現状の D I 値（▲59.6）と比較すると 7.0 ポイントの改善を見通しています。業種別では、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業、交通運輸業、その他の業種が改善を見通すほか、建設業はほぼ横ばいの見通しです。地区別では、伊賀地区を除くすべての地区で改善の見通しとなりました。

「売上状況」「利益状況」「販売条件」「仕入条件」の項目においては、仕入条件の全体 D I 値はほぼ横ばいの傾向となりましたが、その他の項目は全体 D I 値が前期より改善の傾向となりました。

地区別では「売上状況」「利益状況」はすべての地区で改善、「販売条件」は南勢地区がほぼ横ばい、その他の地区はすべての地区で改善、「仕入条件」は中勢地区を除くすべての地区で改善しました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 19.9%（前期 14.7%）と 5.2 ポイント増加した一方で、「予定している」とした割合は、全体で 13.7%（前期 15.4%）と 1.7 ポイント減少しました。業種別の実績では、その他の業種が 27.3%で割合が最も高く、地区別の実績では伊賀地区が 22.2%、設備投資の予定では南勢地区が 14.5%と最も高くなっています。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で 14.9（前期 15.9）、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 12.6%（前期 26.7%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 68.5%（前期 82.7%）、『設備資金』の割合は 26.8%（前期 13.4%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

令和 3 年 2 月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 最近の売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	9
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し	11
9. 借入状況	12
借入難易度D I 値の推移	13
10. 借入予定	14
11. 借入希望先	14
12. 借入金の使途予定	15
13. 経営上の問題点	15
・ 県内商工会議所地区の景況	17
・ 景況調査票	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内 12 商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔* 1〕 県内商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

〔* 2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下（宿泊業・娯楽業は 20 人以下）、
製造・建設・その他の業種については 20 人以下。
（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔* 3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山
中勢地区……津・松阪
南勢地区……伊勢・鳥羽
伊賀地区……上野・名張
東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県内 12 商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業 9,435 事業所を対象とした。回答状況は、回答率 28.5%、回答企業 2,692 事業所であった。

3. 調査方法

F A X または郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

令和 3 年 1 月 4 日～1 月 15 日

※ 当調査は、“1 月～6 月期”と“7 月～12 月期”の年 2 回、前年同期比の DI 値による調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、伊勢・鳥羽・尾鷲・熊野の 4 商工会議所が担当した。

なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

DI 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

DI とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第 2 桁で四捨五入をしているため、合計が 100.0 にならない場合がある。（マイナスは▲表示）

業種別・地区別回答状況

単位：企業（ ）：％ 上：業種別構成率 下：地区別構成率

業種	地区	北勢				中勢			南勢			伊賀		東紀州			計			
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山	津	松阪	伊勢	鳥羽	上野	名張	尾鷲	熊野							
														計	構成率	計		構成率	計	構成率
製造業	食料	48	12	26	6	4	20	7	13	13	4	9	6	3	3	13	10	3	100	
	せんい	11	5	4	1	1	3	0	3	2	2	0	7	5	2	1	1	0	24	
	機械	72	33	23	13	3	13	6	7	11	1	10	7	5	2	2	2	0	105	
	金属製品	89	40	22	17	10	15	5	10	7	6	1	5	4	1	5	4	1	121	
	木材	20	9	6	4	1	16	0	16	0	0	0	2	2	0	10	7	3	48	
	化学	7	3	2	1	1	3	2	1	0	0	0	5	3	2	0	0	0	15	
	窯業	13	1	9	2	1	1	0	1	3	3	0	2	2	0	4	3	1	23	
	印刷出版	18	7	4	5	2	11	6	5	2	2	0	3	2	1	2	1	1	36	
	その他	60	17	24	17	2	24	4	20	12	8	4	6	4	2	5	3	2	107	
	計	338 (23.1) (58.3)	127	120	66	25	106 (21.6) (18.3)	30	76	50 (15.2) (8.6)	26	24	43 (20.8) (7.4)	30	13	42 (20.5) (7.3)	31	11	579 (21.5) (100.1)	
非製造業	建設業	土木工事	82	10	36	31	5	14	5	9	12	7	5	15	5	10	13	8	5	136
		建築工事	166	33	78	52	3	52	25	27	21	15	6	12	6	6	16	13	3	267
		その他	169	24	101	34	10	52	25	27	19	17	2	12	5	7	7	5	2	259
		(小計)	417	67	215	117	18	118	55	63	52	39	13	39	16	23	36	26	10	662
	卸売業	食料	20	10	8	0	2	7	3	4	5	5	0	3	2	1	7	5	2	42
		せんい	4	0	3	0	1	1	0	1	6	5	1	2	2	0	0	0	0	13
		その他	48	15	24	7	2	24	6	18	18	15	3	8	2	6	4	2	2	102
		(小計)	72	25	35	7	5	32	9	23	29	25	4	13	6	7	11	7	4	157
	小売業	せんい	32	14	11	6	1	14	6	8	13	10	3	5	4	1	12	7	5	76
		食料	48	14	15	13	6	12	1	11	18	12	6	8	5	3	11	6	5	97
		日用品	15	8	3	1	3	4	1	3	1	1	0	2	1	1	3	2	1	25
		電気製品	16	5	4	5	2	6	2	4	5	5	0	5	4	1	6	3	3	38
		その他	88	22	35	28	3	50	8	42	31	17	14	21	13	8	16	8	8	206
		(小計)	199	63	68	53	15	86	18	68	68	45	23	41	27	14	48	26	22	442
	飲食業	91	19	29	30	13	17	3	14	45	26	19	19	9	10	21	13	8	193	
	サービス業	美容・理容	30	7	16	6	1	8	2	6	5	4	1	10	7	3	8	6	2	61
		ホテル旅館	6	1	4	1	0	2	1	1	14	4	10	1	0	1	3	2	1	26
		自動車整備	34	9	11	7	7	20	4	16	9	8	1	7	4	3	3	3	0	73
		不動産	76	16	43	12	5	17	6	11	5	5	0	9	4	5	5	4	1	112
		その他	121	40	50	22	9	42	15	27	27	24	3	16	5	11	10	6	4	216
		(小計)	267	73	124	48	22	89	28	61	60	45	15	43	20	23	29	21	8	488
	交通運輸業	15	3	4	3	5	24	4	20	3	2	1	4	4	0	6	5	1	52	
	計	1061 (72.7) (53.2)	250	475	258	78	366 (74.7) (16.9)	117	249	257 (77.9) (12.9)	182	75	159 (76.8) (8.0)	82	77	151 (73.7) (7.6)	98	53	1994 (74.1) (99.9)	
	その他・不明	61 (4.2) (51.3)	20	23	12	6	18 (3.7) (15.1)	18	0	23 (7.0) (19.3)	18	5	5 (2.4) (4.2)	0	5	12 (5.9) (10.1)	6	6	119 (4.4) (100.0)	
	合計	1460 (100.0) (54.2)	397	618	336	109	490 (100.1) (18.2)	165	325	330 (100.1) (12.3)	226	104	207 (100.0) (7.7)	112	95	205 (100.0) (7.6)	135	70	2692 (100.0) (100.0)	

1. 現状と今後の見通し

a) 現状

全回答企業 2,692 事業所中、「良い・やや良い」が 8.8%、「悪い・やや悪い」が 68.4%で、D I 値は▲59.6（前期▲68.3）となり、8.7 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、前回と比べ悪化となったその他の業種を除く、すべての業種でマイナス幅が減少し改善となり、製造業▲66.9、建設業▲42.3、卸売業▲68.1、小売業▲69.7、飲食業▲83.9、サービス業▲52.2、交通運輸業▲67.3、その他の業種▲57.3 となった。

地区別の D I 値では、前回と比べすべての地区で改善が見られ、北勢地区▲55.9、中勢地区▲64.1、南勢地区▲71.6、伊賀地区▲57.5、東紀州地区▲57.9 となった。

図－1 現状について（業種別）

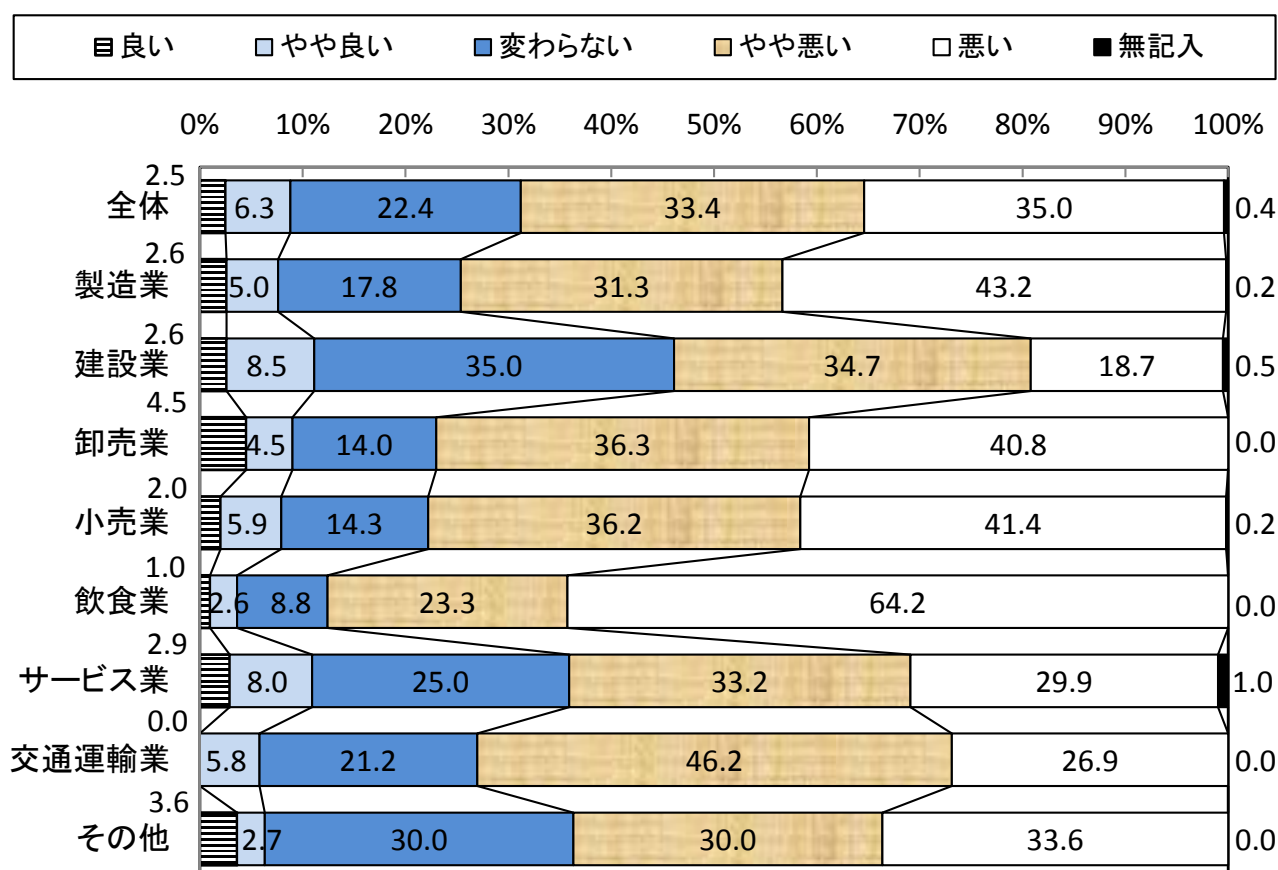
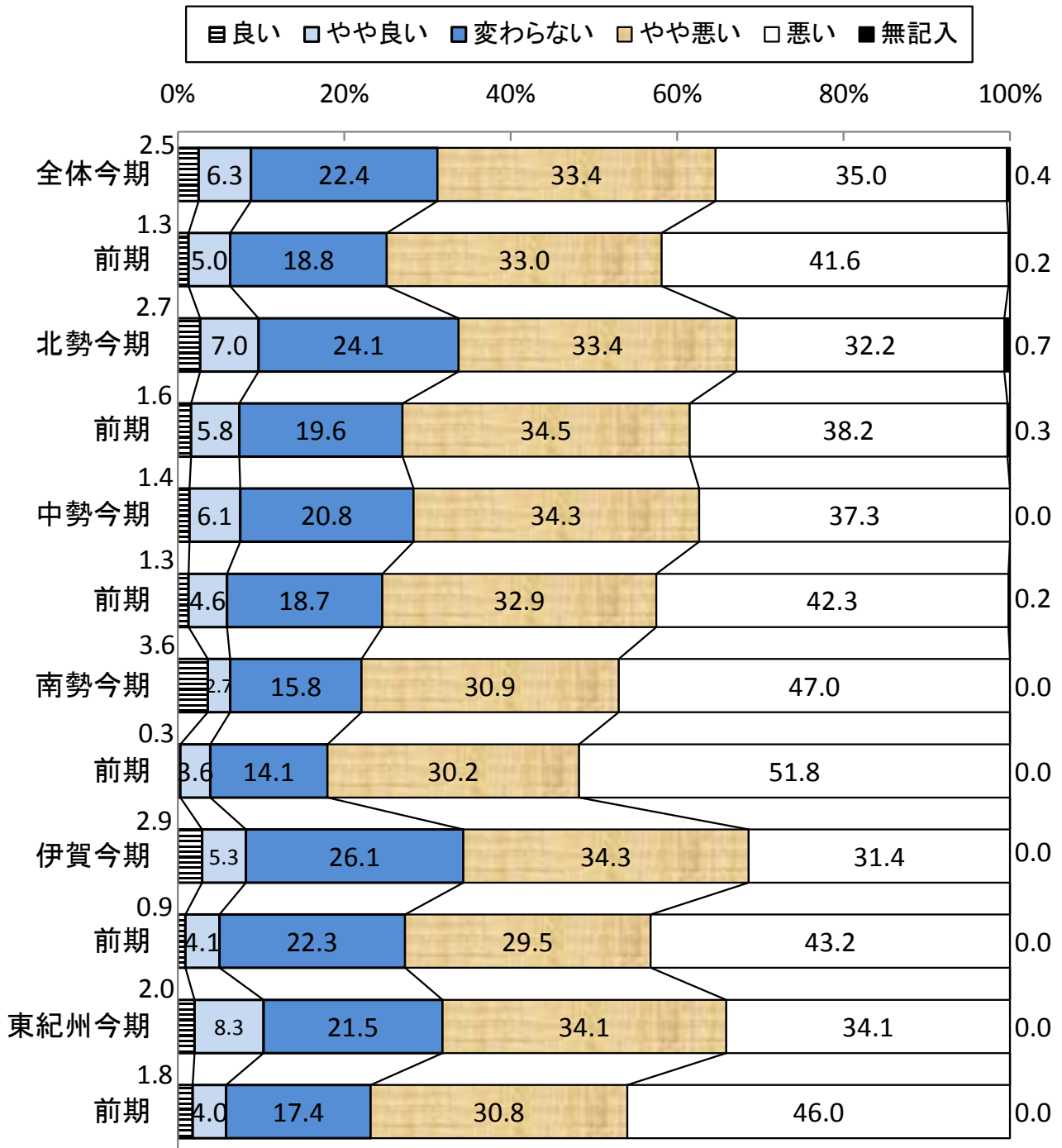
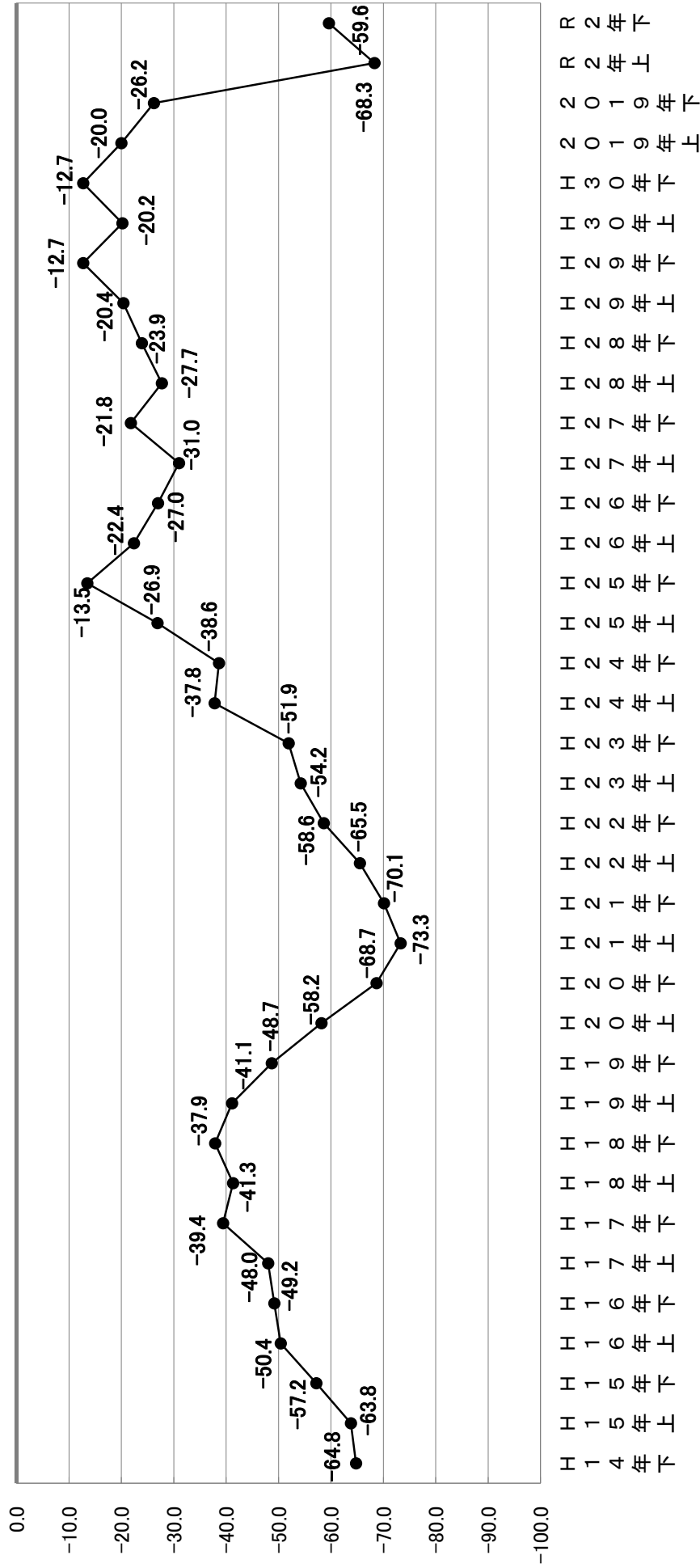


図-2 現状について（全体・地区別）



図一3 現況D I 値の推移



(注) H17 下期分までの値は BSI 値を 2 倍した数値で表示

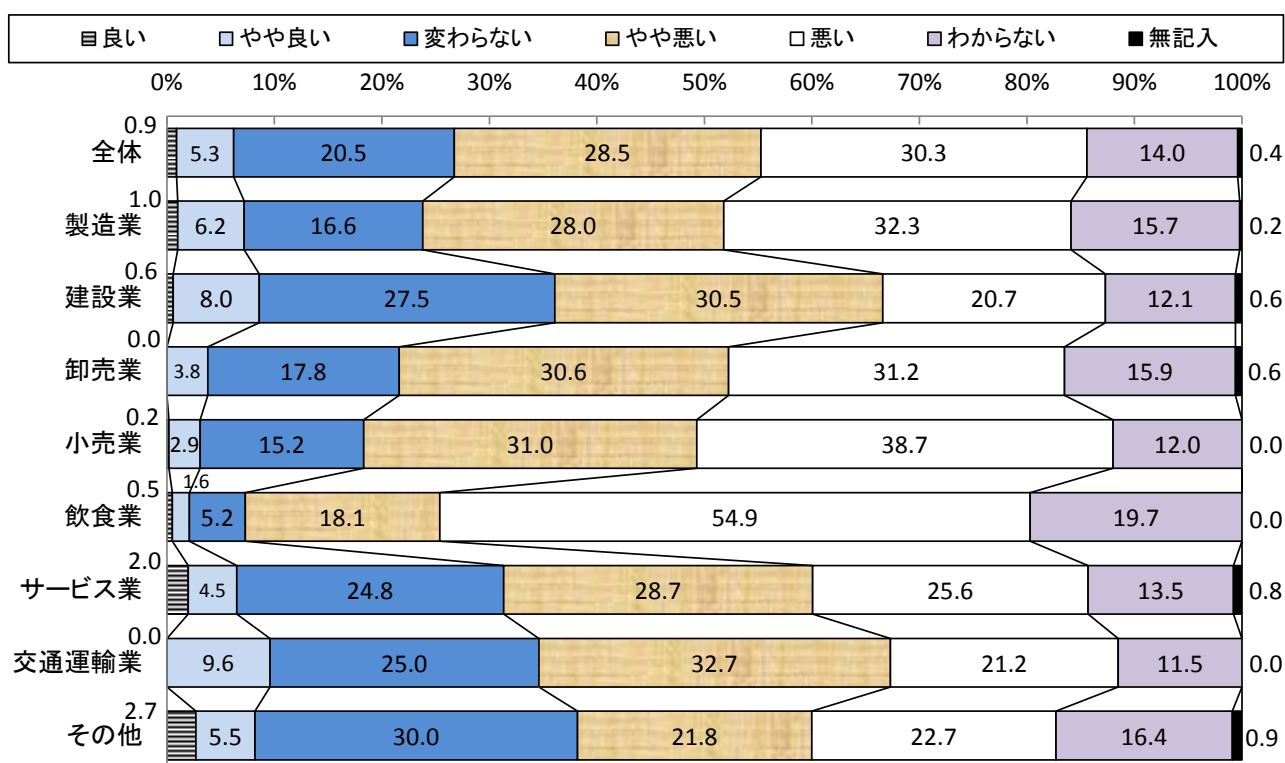
b) 見通し

全体の見通しでは、「良い・やや良い」が6.2%、「悪い・やや悪い」は58.8%で、D I 値は▲52.6（現状D I 値▲59.6）となり、7.0ポイント改善の見通しとなった。

業種別のD I 値では、現状と比べほぼ横ばいとなった建設業を除く、すべての業種でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、製造業▲53.1、建設業▲42.6、卸売業▲58.0、小売業▲66.6、飲食業▲70.9、サービス業▲47.8、交通運輸業▲44.3、その他の業種▲36.3となった。

地区別のD I 値では、現状と比べ悪化となった伊賀地区を除く、すべての地区でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、北勢地区▲49.7、中勢地区▲52.7、南勢地区▲60.0、伊賀地区▲61.8、東紀州地区▲51.3となった。

図-4 今後の見通しについて（業種別）



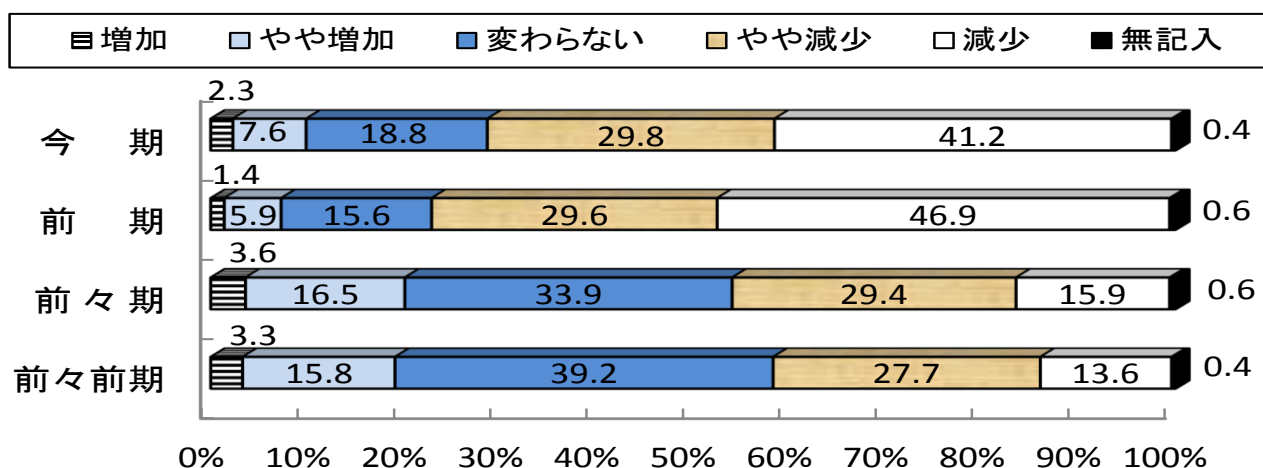
2. 最近の売上状況

全体では、「増加・やや増加」が9.9%（前期7.3%）、「やや減少・減少」が71.0%（前期76.5%）で、D I値は▲61.1（前期▲69.2）となり、8.1ポイント改善した。

業種別のD I値では、前回と比べほぼ横ばいとなった卸売業を除く、すべての業種でマイナス幅が減少し改善となり、製造業▲66.2、建設業▲46.8、卸売業▲68.8、小売業▲71.2、飲食業▲83.8、サービス業▲54.0、交通運輸業▲67.3、その他の業種▲58.2となった。

地区別のD I値では、前回と比べすべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲58.6、中勢地区▲62.9、南勢地区▲73.2、伊賀地区▲60.3、東紀州地区▲56.0となった。

図-5 売上状況



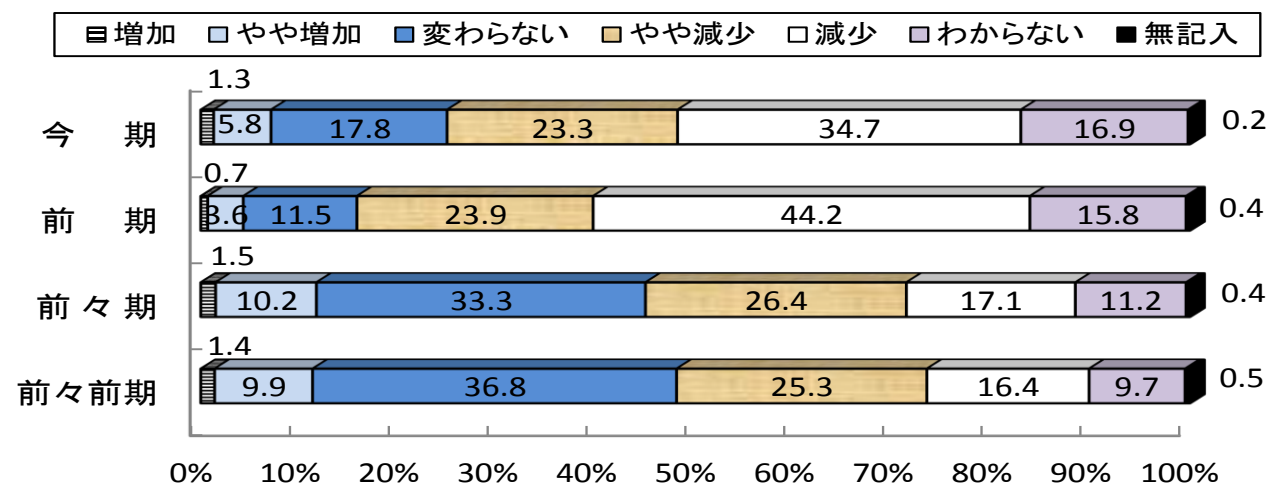
3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が7.1%（前期4.3%）、「やや減少・減少」が58.0%（前期68.1%）で、D I値は▲50.9（現状D I値▲61.1）となり、10.2ポイント改善する見通しとなった。

業種別のD I値では、現状と比べすべての業種でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、製造業▲49.7、建設業▲42.8、卸売業▲54.1、小売業▲66.2、飲食業▲62.8、サービス業▲46.8、交通運輸業▲44.3、その他の業種▲39.1となった。

地区別のD I値では、現状と比べほぼ横ばいとなった伊賀地区を除く、すべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲48.2、中勢地区▲52.1、南勢地区▲58.6、伊賀地区▲59.5、東紀州地区▲46.3となった。

図-6 売上見通し



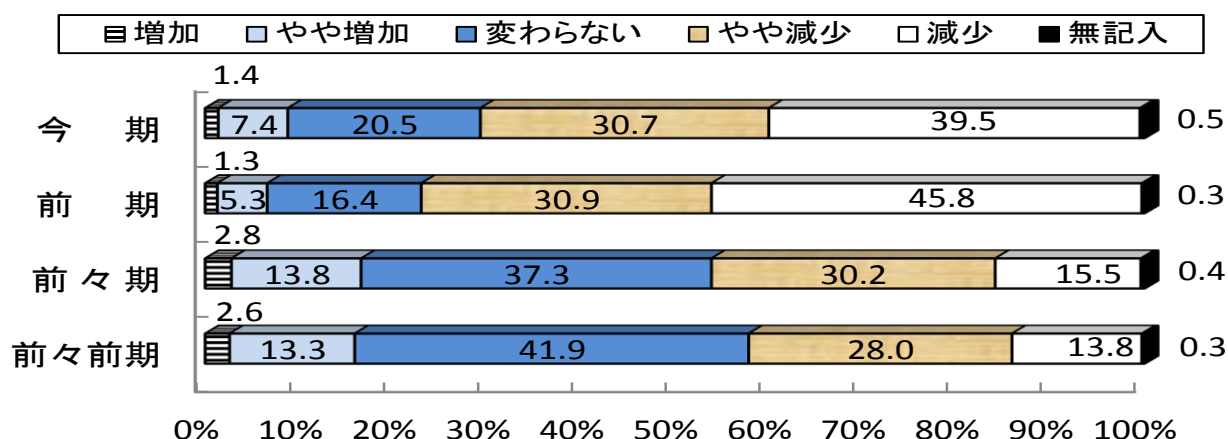
4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が8.8%（前期6.6%）、「やや減少・減少」が70.2%（前期76.7%）で、D I値は▲61.4（前期▲70.1）となり、8.7ポイント改善した。

業種別のD I値では、前回と比べすべての業種でマイナス幅が減少し改善となり、製造業▲64.9、建設業▲52.1、卸売業▲67.5、小売業▲67.8、飲食業▲82.4、サービス業▲55.9、交通運輸業▲55.8、その他の業種▲56.4となった。

地区別のD I値では、前回と比べすべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲58.6、中勢地区▲64.3、南勢地区▲70.9、伊賀地区▲59.9、東紀州地区▲59.5となった。

図-7 利益状況



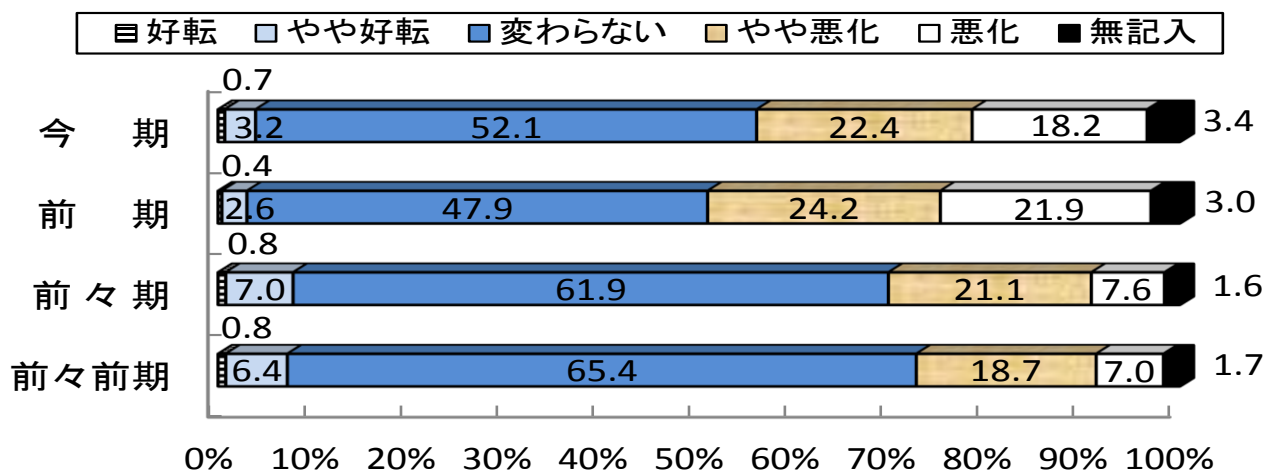
5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が3.9%（前期3.0%）、「やや悪化・悪化」が40.6%（前期46.1%）で、D I値は▲36.7（前期▲43.1）となり、6.4ポイント改善した。

業種別のD I値では、前回と比べほぼ横ばいとなった卸売業を除く、すべての業種でマイナス幅が減少し改善となり、製造業▲35.3、建設業▲29.8、卸売業▲37.5、小売業▲41.5、飲食業▲59.6、サービス業▲35.9、交通運輸業▲26.9、その他の業種▲35.5となった。

地区別のD I値では、前回と比べほぼ横ばいとなった南勢地区を除く、すべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲35.4、中勢地区▲38.8、南勢地区▲44.9、伊賀地区▲30.0、東紀州地区▲34.6となった。

図-8 販売条件



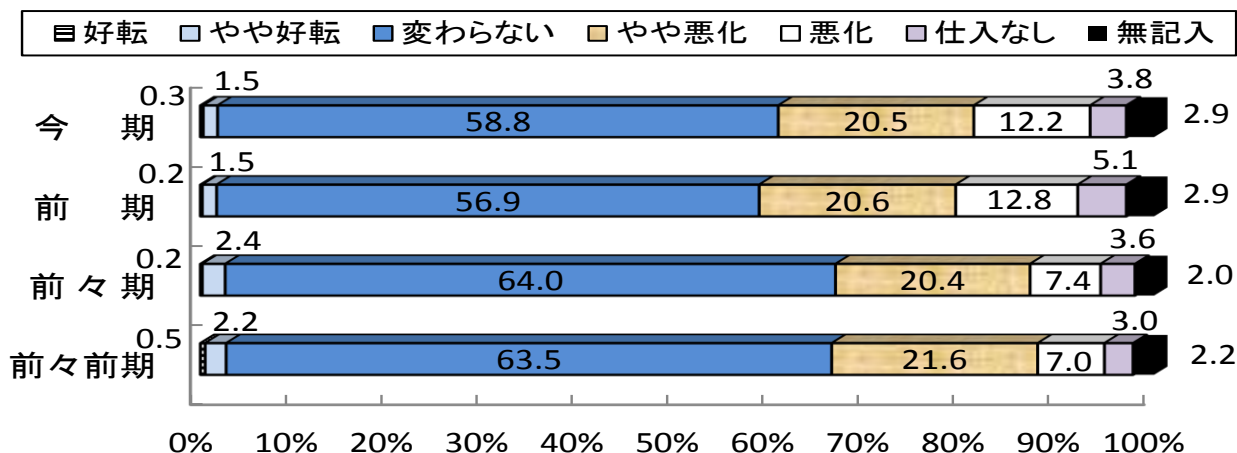
6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が1.8%（前期1.7%）、「やや悪化・悪化」が32.7%（前期33.4%）で、D I値は▲30.9（前期▲31.7）となり、ほぼ横ばいとなった。

業種別のD I値では、前回と比べ建設業、小売業、飲食業でマイナス幅が減少し改善となり、製造業ではほぼ横ばい、卸売業、サービス業、交通運輸業、その他の業種でマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲29.2、建設業▲24.4、卸売業▲34.4、小売業▲31.0、飲食業▲52.3、サービス業▲30.5、交通運輸業▲36.5その他の業種▲34.6となった。

地区別のD I値では、前回と比べ悪化した中勢地区を除く、すべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲30.5、中勢地区▲31.6、南勢地区▲32.5、伊賀地区▲27.1、東紀州地区▲32.7となった。

図-9 仕入条件



7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は535社、19.9%（前期428社、14.7%）、設備投資を予定している企業は368社、13.7%（前期447社、15.4%）であった。

業種別では、その他の業種が27.3%と、他の業種よりも設備投資を行った割合が高いという結果となった。設備投資の予定についても、その他の業種が24.5%と最も高い割合であった。

地区別では、伊賀地区が実績22.2%と最も高く、設備投資の予定については南勢地区が14.5%と最も高い割合であった。

図-10 設備投資の実績

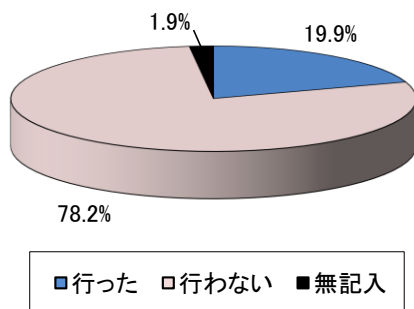
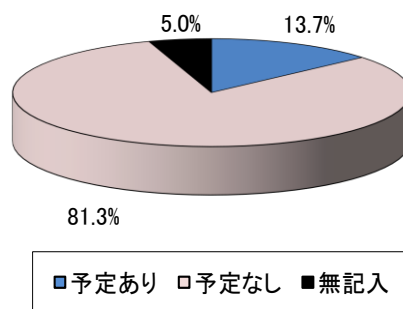


図-11 設備投資の予定



8. 資金繰り状況と今後の見通し

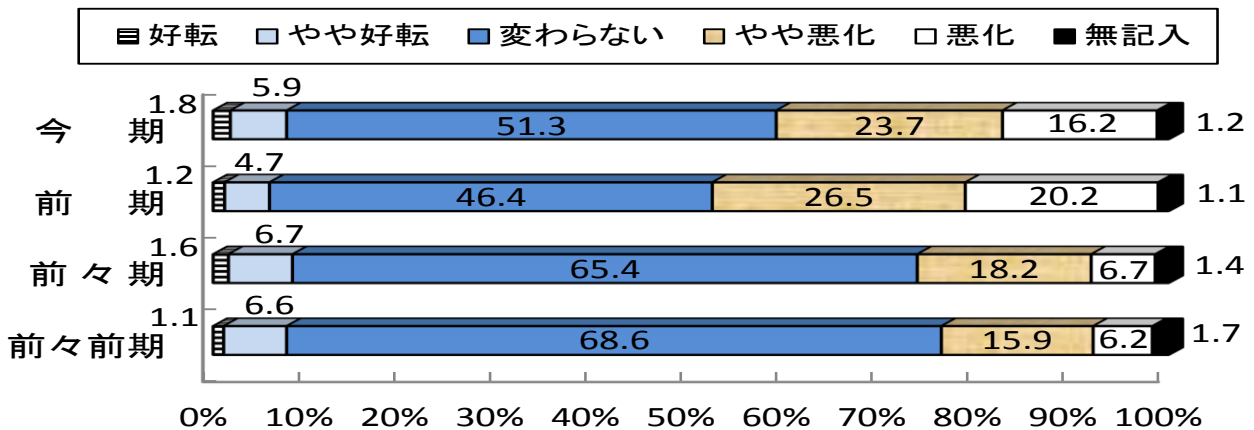
a) 現状

全体では「好転・やや好転」が7.7%（前期5.9%）、「悪化・やや悪化」は39.9%（前期46.7%）で、D I値は▲32.2（前期▲40.8）となり、8.6ポイント改善した。

業種別D I値では、前回と比べすべての業種でマイナス幅が減少し改善が見られ、製造業▲39.0、建設業▲20.2、卸売業▲29.4、小売業▲35.7、飲食業▲63.2、サービス業▲28.4、交通運輸業▲32.7、その他の業種▲20.9となった。

地区別D I値では、前回と比べすべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲30.1、中勢地区▲30.4、南勢地区▲41.0、伊賀地区▲37.2、東紀州地区▲32.2となった。

図-12 資金繰りの現状



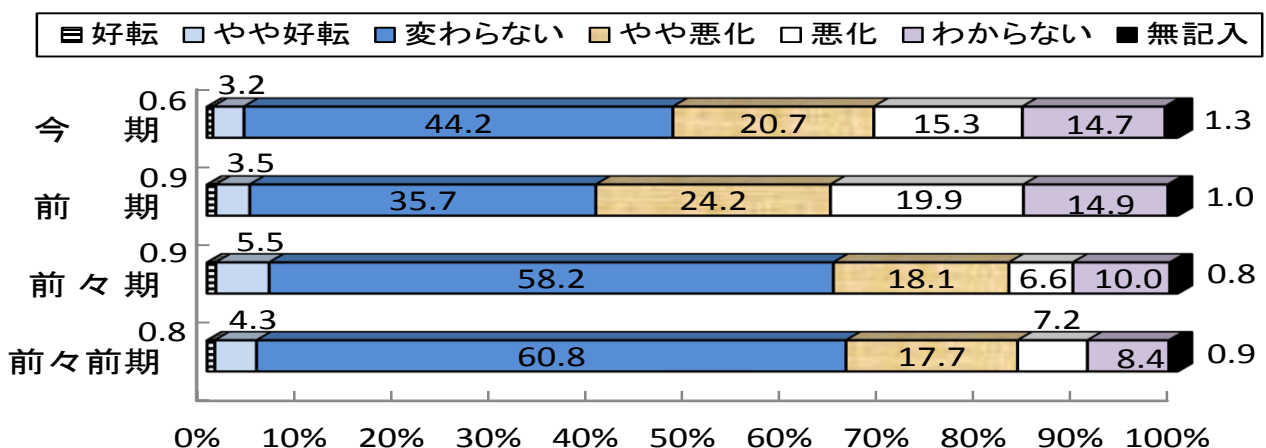
b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が3.8%（前期4.4%）、「悪化・やや悪化」は36.0%（前期44.1%）でD I値は▲32.2（現状D I値▲32.2）と現状と変わらない見通しとなった。

業種別のD I値では、現状と比べ製造業、飲食業、交通運輸業でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、卸売業、その他の業種ではほぼ横ばい、建設、小売業、サービス業でマイナス幅が増加し悪化する見通しが見られ、製造業▲33.3、建設業▲23.7、卸売業▲29.3、小売業▲41.2、飲食業▲54.4、サービス業▲30.1、交通運輸業▲15.3、その他の業種▲21.8となった。

地区別のD I値では、現状と比べ中勢地区、東紀州地区でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、北勢地区、南勢地区はほぼ横ばい、伊賀地区で悪化する見通しが見られ、北勢地区▲30.5、中勢地区▲28.9、南勢地区▲40.3、伊賀地区▲43.0、東紀州地区▲28.8となった。

図-13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,692 社のうち、借入を実施した企業は、1,365 社、50.7%（前期 1,391 社、47.9%）であった。

b) 借入の難易度

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 24.0%（前期 26.5%）、「困難」は 9.1%（前期 10.6%）で、D I 値は 14.9（前期 15.9）と 1.0 ポイント悪化した。

業種別の D I 値では、建設業 20.7、卸売業 18.8、交通運輸業 21.5 で改善となり、製造業 15.5、小売業 12.4、飲食業 2.2、サービス業 8.6、その他の業種 11.1 で悪化となった。

地区別の D I 値では、中勢地区 21.0、伊賀地区 20.4、東紀州地区 10.4 で改善となり、北勢地区 12.8、南勢地区 16.6 で悪化となった。

図-14 借入の難易度

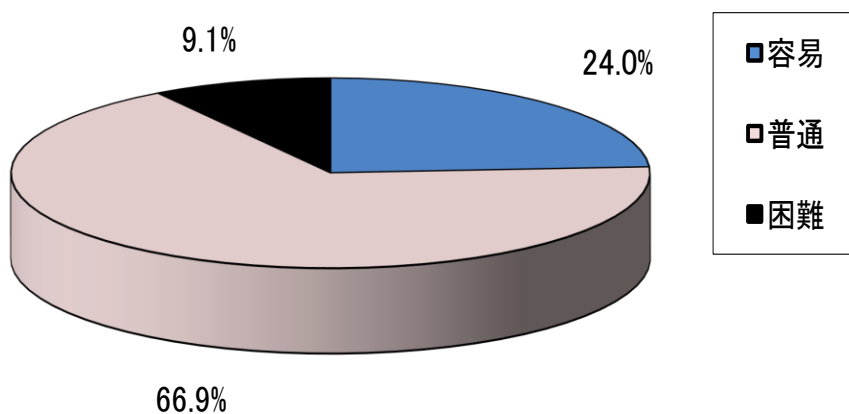
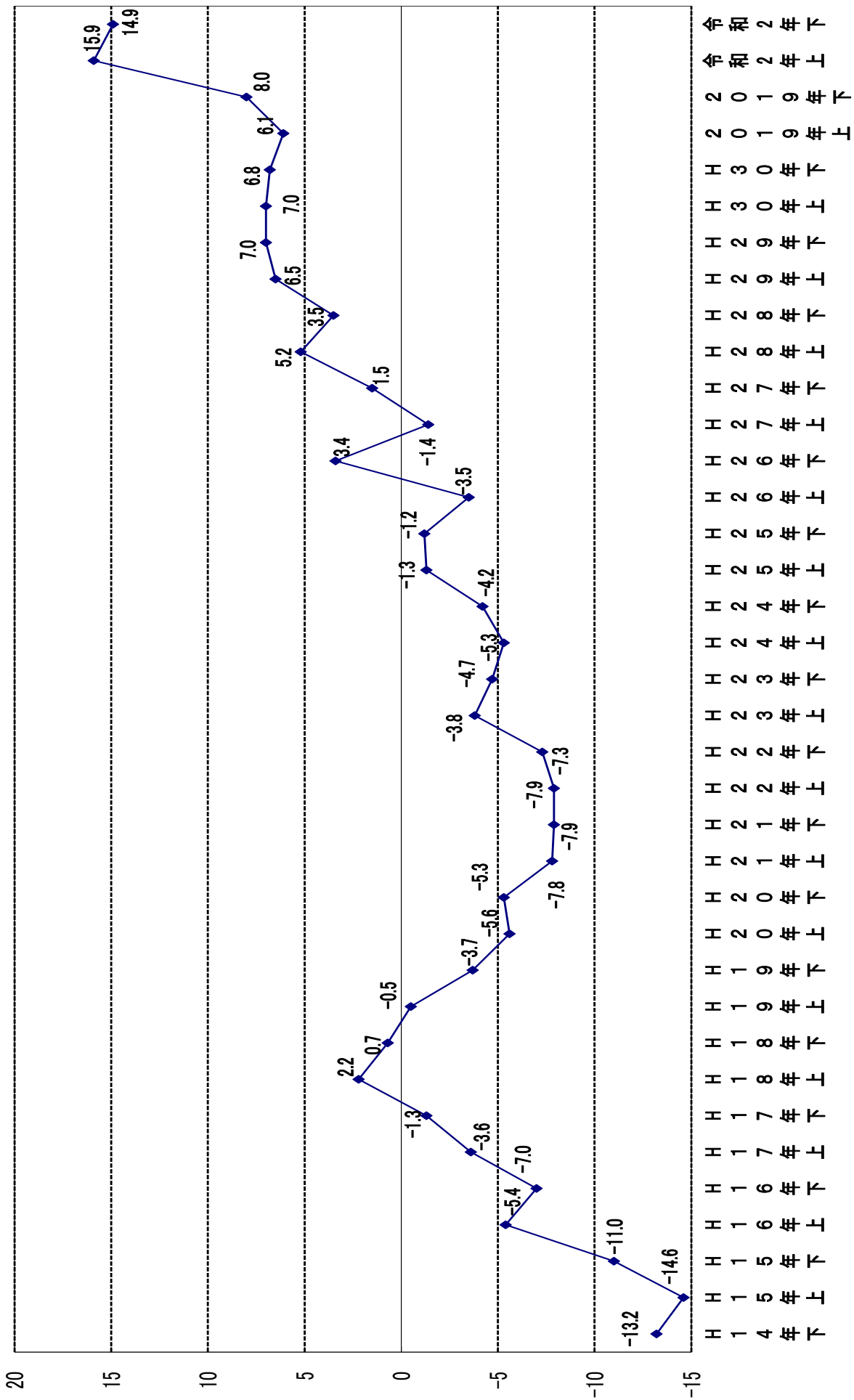


図-15 借入難易度DI値の推移



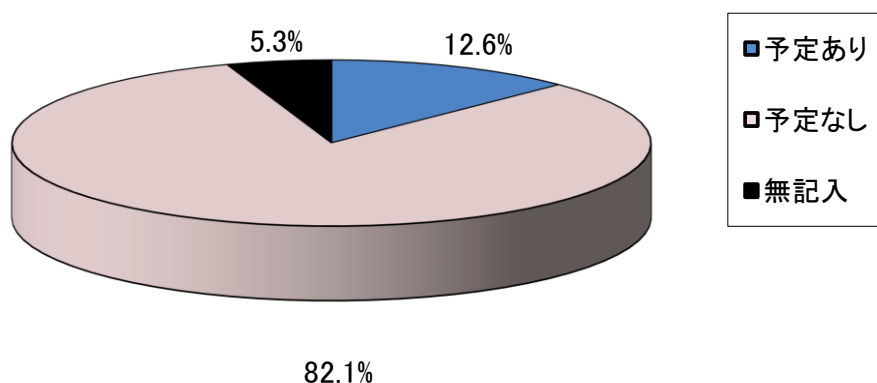
10. 借入予定

全体では、回答企業 2,692 社のうち、借入を予定している企業は 340 社、12.6%（前期 774 社 26.7%）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのはその他の業種が 17.3%と最も高く、小売業と交通運輸業が 7.7%と最も低かった。

地区別では、伊賀地区が 19.3%と最も高く、北勢地区 12.7%、中勢地区 10.6%、南勢地区 14.8%、東紀州地区 6.3%となった。

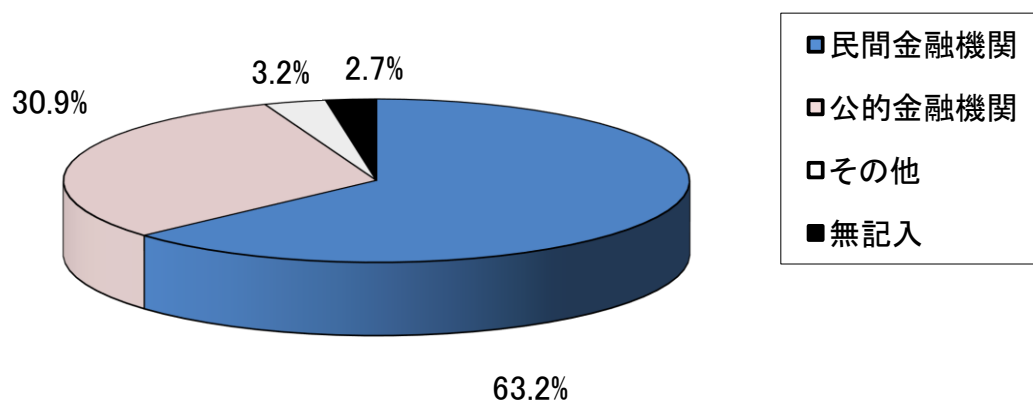
図-16 借入予定



11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 63.2%（前期 59.0%）、「公的金融機関」は 30.9%（前期 35.8%）となった。

図-17 借入希望先

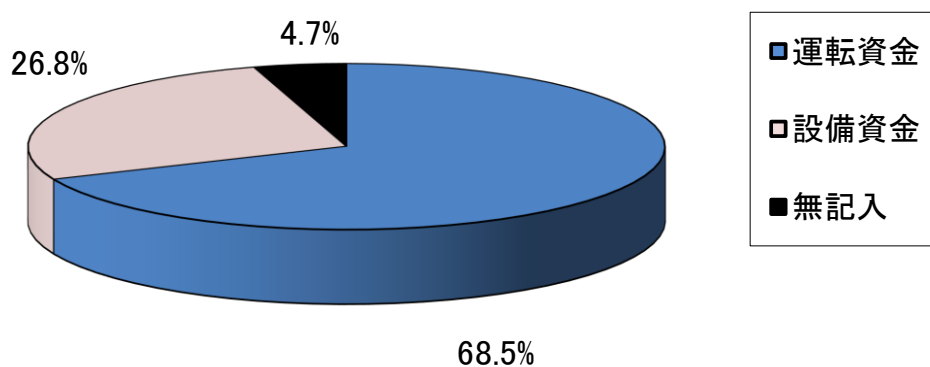


12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が68.5%（前期82.7%）に対し、「設備資金」は26.8%（前期13.4%）であった。

業種別では「運転資金」で飲食業が88.0%、「設備資金」で交通運輸業が50.0%と、それぞれ最も高かった。

図-18 借入金の使途予定



13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が最も多く60.2%（前期65.3%）、次いで「人手不足」が21.0%（前期18.2%）、「設備店舗の狭小老朽化」が19.2%（前期17.0%）となった。「売上・受注の停滞減少」、「人手不足」は前回に引き続き、第1位、第2位となった。

業種別では、すべての業種で「売上・受注の停滞減少」の回答が最も多かった。建設業・交通運輸業・その他の業種で「人手不足」は、第2位となった。

表-1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第1位	第2位	第3位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (68.6)	設備店舗の狭小老朽化 (25.4)	人材育成 (19.0)
	建 設 業	売上・受注の停滞減少 (51.4)	人手不足 (39.7)	人材育成 (26.7)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (71.3)	競争激化 (26.8)	設備店舗の狭小老朽化 (16.6)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (72.4)	競争激化 (25.1)	設備店舗の狭小老朽化 (23.3)
	飲 食 業	売上・受注の停滞減少 (73.1)	設備店舗の狭小老朽化 (28.0)	人手不足 (17.1)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (47.5)	設備店舗の狭小老朽化 (22.5)	競争激化 (20.3)
	交通運輸業	売上・受注の停滞減少 (51.9)	人手不足 (28.8)	人材育成 (23.1)
	そ の 他	売上・受注の停滞減少 (43.6)	人手不足 (20.9)	人材育成 (20.0)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (57.6)	人手不足 (22.0)	設備店舗の狭小老朽化 (18.7)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (62.9)	人手不足 (22.4)	競争激化 (21.8)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (65.8)	人手不足 (23.9)	設備店舗の狭小老朽化 (18.8)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (61.8)	設備店舗の狭小老朽化 (28.5)	競争激化 (25.1)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (62.0)	設備店舗の狭小老朽化 (21.0)	人手不足 (14.6)
総 合		売上・受注の停滞減少 (60.2)	人手不足 (21.0)	設備店舗の狭小老朽化 (19.2)

県内商工会議所地区の景況

桑名商工会議所地区（調査対象 1,478 事業所 回答状況 397 事業所）

現 状

令和2年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が8.0%（前期5.1%）、「やや悪い・悪い」が70.3%（前期76.7%）となった。D I値は▲62.3（前期▲71.6）となり、前期調査時に比べ9.3ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲78.8（前期▲81.2）・建設業が▲38.8（前期▲59.1）・卸売業が▲76.0（前期▲76.7）・小売業が▲71.5（前期▲70.5）・飲食業が▲73.6（前期▲95.2）・サービス業が▲37.0（前期▲61.8）・交通運輸業が▲66.6（前期▲33.4）・その他の業種が▲78.9（前期▲77.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して、製造業、建設業、飲食業、サービス業については改善が見られ、卸売業が横ばい、小売業、交通運輸業、その他の業種については悪化となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が9.1%、「やや悪い・悪い」との回答は58.5%、D I値は▲49.4となった。

現状のD I値▲62.3と比較すると、12.9ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲57.4・建設業が▲26.9・卸売業が▲64.0・小売業が▲76.2・飲食業が▲52.6・サービス業が▲34.3・交通運輸業が▲33.3・その他の業種が▲26.4となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が21.4ポイント、建設業が11.9ポイント、卸売業が12.0ポイント、飲食業が21.0ポイント、サービス業が2.7ポイント、交通運輸業が33.3ポイント、その他の業種が52.5ポイント改善する見通しである。一方で小売業が4.7ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、63.5%（前期70.3%）、「人材育成」が16.6%（前期13.1%）、「競争激化」が16.4%（前期15.8%）と上位を占めた。

また、業種別では、前期に引き続き全ての業種において「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は66社16.6%（前期15.1%）であった。前期と比較して1.5ポイント増加した。

業種別では、製造業が11.8%（前期9.8%）、建設業が19.4%（前期13.3%）、卸売業が16.0%（前期10.0%）、小売業が17.5%（前期14.1%）、飲食業が15.8%（前期38.1%）、サービス業が19.2%（前期20.6%）、交通運輸業が0.0%（前期33.3%）、その他の業種が31.6%（前期23.1%）となった。

前期と比較し、その他の業種が8.5ポイントと最も増加幅が大きく、交通運輸業が▲33.3ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

四日市商工会議所地区（調査対象事業所事業所 2,237 事業所 回答状況 618 事業所）

現 状

令和2年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が10.9%（前期9.4%）、「やや悪い・悪い」が62.6%（前期70.2%）となった。D I値は▲51.7（前期▲60.8）となり、前期調査時に比べ9.1ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲58.4（前期▲66.2）・建設業が▲39.6（前期▲59.0）・卸売業が▲60.0（前期▲79.1）・小売業が▲60.3（前期▲65.4）・飲食業が▲100.0（前期▲95.6）・サービス業が▲49.1（前期▲51.8）・交通運輸業が▲75.0（前期▲60.0）・その他の業種が▲43.5（前期▲25.1）となった。

業種別では前期D I値と比較して製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業で改善が見られた。一方で、飲食業・交通運輸業・その他業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が8.9%、「やや悪い・悪い」との回答は55.9%、D I値は▲47.0となった。現状のD I値（▲51.7）と比較すると、4.7ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲49.2・建設業が▲35.7・卸売業が▲65.7・小売業が▲64.7・飲食業が▲79.3・サービス業が▲45.2・交通運輸業が▲50.0・その他の業種が▲26.1となった。

業種別に現状のD I値と比較すると製造業が9.2ポイント、建設業が3.9ポイント、飲食業が20.7ポイント、サービス業が3.9ポイント、交通運輸業が25.0ポイント、その他の業種が17.4ポイントと改善を見通す。一方で、卸売業が▲5.7ポイント、小売業が▲4.4ポイントと悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く52.8%（前期60.5%）、次いで「人手不足」が25.7%（前期20.5%）、「設備店舗の狭小老朽化」が19.6%（前期14.7%）と上位を占めた。

課題別では、「人手不足」が卸売業で前期9位（4.7%）から今期2位（20.0%）、飲食業で前期4位（13.0%）から今期2位（31.0%）の経営課題となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は142社23.0%（前期17.1%）であった。前期と比較して5.9ポイント増加した。

業種別では、製造業が20.0%（前期13.1%）、建設業が20.5%（前期15.9%）、卸売業が5.7%（前期7.0%）、小売業が23.5%（前期11.1%）、飲食業が27.6%（前期26.1%）、サービス業が33.9%（前期25.9%）、交通運輸業が50.0%（前期20.0%）、その他の業種では17.4%（前期28.6%）となった。

前期と比較し、製造業が6.9ポイント、建設業が4.6ポイント、小売業が12.4ポイント、飲食業が

1.5 ポイント、サービス業が 8.0 ポイント、交通運輸業が 30.0 ポイントと増加した一方で、卸売業が 1.3 ポイント、その他の業種が 11.2 ポイント減少した。

鈴鹿商工会議所地区（調査対象 1,100 事業所 回答状況 336 事業所）

現 状

令和 2 年 7～12 月の業況は、「良い・やや良い」が 9.5%（前期 7.4%）、「やや悪い・悪い」が 63.4%（前期 68.8%）となった。D I 値は▲53.9（前期▲61.4）となり、前期調査時に比べ 7.5 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲65.2（前期▲67.4）・建設業が▲42.7（前期▲53.7）・卸売業が▲28.6（前期▲53.9）・小売業が▲65.9（前期▲70.7）・飲食業が▲83.3（前期▲86.6）・サービス業が▲41.7（前期▲58.1）となった。

業種別に現状 D I 値を比較すると、製造業は 2.2 ポイント、建設業は 11.0 ポイント、卸売業は 25.3 ポイント、小売業は 4.8 ポイント、飲食業は 3.3 ポイント、サービス業は 16.4 ポイントの改善を示した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 7.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 62.2%、D I 値は▲55.1 となった。

現状の D I 値（▲53.9）と比較すると、1.2 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲51.5・建設業が▲49.6・卸売業が 0.0・小売業が▲66.0・飲食業が▲86.7・サービス業が▲54.1 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業が 13.7 ポイント、卸売業が 28.6 ポイントの改善を見通すほか、小売業が▲66.0 と現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業が 6.9 ポイント、飲食業が 3.4 ポイント、サービス業が 12.4 ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く 58.3%（前期 62.3%）、「人手不足」が 23.2%（前期 26.4%）、「人材育成」が 19.6%（前期 20.1%）と上位を占めた。業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多かった。製造業は、「人材育成」前期 3 位 19.1%が今期 2 位 24.2%へ、「設備店舗の狭小老朽化」前期 2 位 29.2%が今期 3 位 21.2%と入れ替わった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 67 社 19.9%（前期 17.4%）であった。前期と比較して 2.5 ポイント増加した。業種別では、製造業が 19.7%（前期 11.2%）、建設業が 23.9%（前期 20.5%）、卸売業が 0.0%（前期 7.7%）、小売業が 15.1%（前期 22.0%）、飲食業が 23.3%（前期 13.3%）、サービス業が 18.8%（前期 17.9%）となった。前期と比較すると、製造業、建設業、飲食業、サービス業で設備投資の増加が見られ、飲食業は 10.0 ポイントと最も増加幅が大きい結果となった。

亀山商工会議所地区（調査対象 530 事業所 回答状況 109 事業所）

現 状

令和2年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が9.2%（前期4.0%）、「やや悪い・悪い」が71.6%（前期84.1%）となった。D I 値は▲62.4（前期▲80.1）となり、前期調査時に比べ17.7ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲60.0（前期▲74.9）・建設業が▲44.4（前期▲50.0）・卸売業が▲80.0（前期▲66.7）・小売業が▲73.3（前期▲92.3）・飲食業が▲77.0（前期▲100.0）・サービス業が▲63.7（前期▲73.9）・交通運輸業が▲60.0（前期▲100.0）・その他の業種が▲50.0（前期▲88.9）となった。

業種別では前期D I 値と比較して卸売業以外の業種で改善が見られたが、卸売業については悪化という結果となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が3.6%、「やや悪い・悪い」との回答は53.2%、D I 値は▲49.6となった。

現状のD I 値（▲62.4）と比較すると12.8ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲48.0・建設業が▲61.1・卸売業が▲40.0・小売業が▲40.0・飲食業が▲53.9・サービス業が▲50.1・交通運輸業が▲40.0・その他の業種が▲50.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が12.0ポイント・卸売業が40.0ポイント・小売業が33.3ポイント・飲食業が23.1ポイント・サービス業が13.6ポイント・交通運輸業が20.0ポイント改善を見通すほか、その他の業種が現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業が16.7ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、61.5%（前期70.6%）、「設備店舗の狭小老朽化」が31.2%（前期11.9%）、「人手不足」が20.2%（前期13.5%）、「競争激化」が20.2%（前期18.3%）と上位を占めた。

また、業種別では、その他の業種以外の業種において「売上・受注の停滞減少」を、その他の業種では「人手不足」を上位に挙げている結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は27社 24.8%（前期11.9%）であった。前期と比較して12.9ポイント増加した。業種別ではサービス業が8社と最も多かった。

津商工会議所地区（調査対象 1628 事業所 回答状況 165 事業所）

現 状

令和2年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が6.0%（前期6.9%）、「やや悪い・悪い」が75.8%（前期73.0%）となった。D I 値は▲69.8（前期▲66.1）となり、前期調査時に比べ3.7ポイント悪化する結果となった。

業種別の主要なD I 値を見ると、製造業が▲86.6（前期▲80.0）・建設業が▲52.8（前期▲62.5）・卸売業が▲55.5（前期▲72.7）・小売業が▲83.3（前期▲68.4）・サービス業が▲75.0（前期▲58.1）・その他の業種が▲66.6（前期▲52.3）となった。

業種別では前期D I 値と比較して、建設業、卸売業では改善しており、それ以外の業種については悪化となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が3.6%、「やや悪い・悪い」との回答は62.4%、D I 値は▲58.8となった。

現状のD I 値（▲69.8）と比較すると、11.0ポイントと改善を見通している。

業種別の主要なD I 値を見ると製造業が▲60.1・建設業が▲58.2・卸売業が▲44.4・小売業が▲61.2・サービス業が▲64.3・その他の業種が▲61.1を見通す結果となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、建設業を除くすべての業種で改善の見通しとなった。建設業については5.4ポイント悪化する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、65.5%（前期67.6%）、「人手不足」が24.8%（前期20.1%）、「競争激化」が23.6%（前期19.6%）と上位を占めた。

また、業種別では、全ての業種で「売上・受注の停滞減少」が第1位の項目となっている。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は26社15.8%（前期12.7%）であった。前期と比較して3.1ポイント増加した。業種別では建設業が10社（前期10社）、製造業が5社、サービス業6社、小売業が1社、その他の業種が4社となった。

松阪商工会議所地区（調査対象 808 事業所 回答状況 325 事業所）

現 状

令和2年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が8.3%（前期5.3%）、「やや悪い・悪い」が69.5%（前期76.5%）となった。D I値は▲61.2（前期▲71.2）となり、前期調査時に比べ10.0ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲69.7（前期▲74.2）・建設業が▲41.3（前期▲59.7）・卸売業が▲82.7（前期▲79.0）・小売業が▲66.2（前期▲75.4）・飲食業が▲64.2（前期▲88.2）・サービス業が▲57.3（前期▲66.0）・交通運輸業が▲60.0（前期▲78.9）となった。

業種別では前期D I値と比較して、卸売業を除く全ての業種で改善した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が5.8%、「やや悪い・悪い」との回答は55.4%、D I値は▲49.6となった。

現状のD I値（▲61.2）と比較すると、11.6ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲52.6・建設業が▲39.8・卸売業が▲74.0・小売業が▲54.4・飲食業が▲64.4・サービス業が▲41.1・交通運輸業が▲40.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が17.1ポイント、建設業が1.5ポイント、卸売業が8.7ポイント、小売業が11.8ポイント、サービス業が16.2ポイント、交通運輸業が20.0ポイント改善する見通しである。飲食業はほぼ横ばいの見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く61.5%（前期63.0%）、「人手不足」が21.2%（前期16.0%）、「競争激化」が20.9%（前期20.7%）が上位を占めた。

また、業種別では、交通運輸業を除く全ての業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、交通運輸業は「人手不足」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は56社17.2%（前期11.3%）であった。前期と比較して5.9ポイント増加した。

業種別では、製造業が13.2%（前期14.9%）、建設業が20.6%（前期11.3%）、卸売業が26.1%（前期5.3%）、小売業が10.3%（前期5.8%）、飲食業が28.6%（前期11.8%）、サービス業が14.8%（前期13.2%）、交通運輸業が35.0%（前期20.0%）となった。

前期と比較し、卸売業が20.8ポイントと最も増加幅が大きく、製造業は1.7ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

伊勢商工会議所地区（調査対象 600 事業所 回答状況 226 事業所）

現 状

令和2年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が5.7%（前期4.2%）、「やや悪い・悪い」が76.5%（前期78.8%）となった。D I 値は▲70.8（前期▲74.6）となり、前期調査時に比べ3.8ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲69.2（前期▲87.9）・建設業が▲43.5（前期▲45.8）・卸売業が▲88.0（前期▲86.7）・小売業が▲84.5（前期▲86.9）・飲食業が▲88.5（前期▲97.1）・サービス業が▲66.7（前期▲65.4）・交通運輸業が▲50.0（前期▲100.0）・その他の業種が▲53.3（前期▲66.7）となった。

業種別では前期D I 値と比較して卸売業とサービス業を除く全ての業種で改善が見られた。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が3.5%、「やや悪い・悪い」との回答は62.4%、D I 値は▲58.9となった。

現状のD I 値（▲70.8%）と比較すると、11.9ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲69.3・建設業が▲43.6・卸売業が▲64.0・小売業が▲75.5・飲食業が▲65.4・サービス業が▲55.6・交通運輸業が▲50.0・その他の業種が▲20.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、卸売業が24.0ポイント、小売業が9.0ポイント、飲食業が23.1ポイント、サービス業が11.1ポイント、その他の業種で33.3ポイント改善を見通し、製造業、建設業、交通運輸業ではほぼ横ばいの見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、66.8%（前期68.6%）、「人手不足」が23.5%（前期20.3%）、「設備店舗の狭小老朽化」が15.5%（前期15.7%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、交通運輸業で「人手不足」「税務・経理」が上位を占めた。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は40社17.7%（前期12.7%）であった。前期と比較して5.0ポイント増加した。業種別ではサービス業が12社と最も多かった。

鳥羽商工会議所地域（調査対象 250 事業所 回答状況 104 事業所）

現 状

令和2年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が7.7%（前期3.2%）、「やや悪い・悪い」が80.7%（前期88.0%）となった。D I値は▲73.0（前期▲84.8）となり前期調査時に比べ、11.8ポイントの改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲62.5（前期▲70.9）・建設業が▲38.5（前期▲70.0）・卸売業が▲100.0（前期▲100.0）・小売業が▲100.0（前期▲80.9）・飲食業が▲94.7（前期▲100.0）・サービス業が▲46.6（前期▲96.3）・交通運輸業が0.0（前期▲100.0）・その他の業種が▲75.0（前期▲80.0）となっている。業種別において製造業、建設業、サービス業に改善がみられるが小売業については悪化している。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が1.9%、「やや悪い・悪い」との回答は64.4%、D I値は▲62.5となった。

現状のD I値（▲73.0）と比較すると、10.5ポイント改善の見通しとなっている。

業種別のD I値を見ると製造業が▲54.2・建設業が▲46.2・卸売業が▲25.0・小売業が▲78.2・飲食業が▲79.0・サービス業が▲66.6・交通運輸業が▲100.0・その他の業種が0.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると建設業、サービス業が悪化の見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、前回と変わらず「売上・受注の停滞減少」が最も多く63.5%（前期68.0%）を占めた。次いで「設備店舗の狭小老朽化」が26.0%（前期32.0%）、「人手不足」が25.0%（前期12.0%）と上位を占めた。

業種別においても建設業を除く業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となり、建設業は「人手不足」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は26社25.0%（前期20.8%）であった。前期と比較して4.2ポイント増加した。業種別では、製造業が16.7%（前期16.7%）、建設業が46.2%（前期15.0%）、卸売業が0.0%（前期0.0%）、小売業が0.0%（前期9.5%）、飲食業が31.6%（前期25.0%）、サービス業が46.7%（前期37.0%）、交通運輸業が100.0%（前期100.0%）、その他業種が25.0%（前期20.0%）となった。

◎上野商工会議所地域（調査対象 280 事業所 回答状況 112 事業所）

現 状

令和2年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が3.6%（前期1.9%）、「やや悪い・悪い」が66.9%（前期80.9%）となった。D I値は▲63.3（前期▲79.0）となり、前期調査時に比べ15.7ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲53.3（前期▲65.4）・建設業が▲75.0（前期▲92.8）・卸売業が▲83.3（前期▲75.0）・小売業が▲70.3（前期▲82.3）・飲食業が▲100.0（前期▲100.0）・サービス業が▲30.0（前期▲76.4）・交通運輸業が▲100.0（前期▲100.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して、製造業・建設業・小売業・サービス業でマイナス幅が縮小し改善が見られたが、飲食業・交通運輸業では悪化のまま改善が見られず、卸売業ではさらに悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が0.9%、「やや悪い・悪い」との回答は60.7%、D I値は▲59.8となった。

現状のD I値（▲63.3）と比較すると、3.5ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲56.7・建設業が▲56.3・卸売業が▲66.6・小売業が▲66.6・飲食業が▲88.9・サービス業が▲40.0・交通運輸業が▲75.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、建設業が8.7ポイント、卸売業が16.7ポイント、小売業が3.7ポイント、飲食業が11.1ポイント、交通運輸業が25.0ポイント改善を見通している。一方で、製造業が3.4ポイント、サービス業は10.0ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く70.5%（前期80.0%）、「設備店舗の狭小老朽化」が36.6%（前期19.0%）、「競争激化」が25.0%（前期21.9%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業・交通運輸業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、サービス業では「競争激化」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は18社16.1%（前期11.4%）であった。前期と比較して4.7ポイント増加した。

業種別では、製造業が10.0%（前期3.8%）、建設業が6.3%（前期21.4%）、卸売業が0.0%（前期0.0%）、小売業が29.6%（前期17.6%）、飲食業が33.3%（前期11.1%）、サービス業が10.0%（前期11.8%）、交通運輸業が25.0%（前期0.0%）となった。業種別では、小売業が8社と最も多かった。

名張商工会議所地域（調査対象 200 事業所 回答状況 95 事業所）

現 状

令和2年7月～12月の業況は、「良い・やや良い」が13.7%（前期7.8%）、「やや悪い・悪い」が64.2%（前期65.2%）となった。D I値は▲50.5（前期▲57.4）となり、前期調査時に比べ6.9ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲38.5（前期▲70.6）・建設業が▲47.8（前期▲48.3）・卸売業が▲14.3（前期▲37.5）・小売業が▲50.1（前期▲76.9）・飲食業が▲70.0（前期▲83.4）、サービス業が▲56.6（前期▲50.0）・その他の業種が▲66.6（前期▲25.0）となった。業種別では前期D I値と比較して製造業、卸売業、小売業、飲食業で改善し、建設業ではほぼ横ばい、一方でサービス業、その他業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が5.3%、「やや悪い・悪い」との回答は69.5%、D I値は▲64.2となった。

現状のD I値（▲50.5）と比較すると、13.7ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲69.3・建設業が▲65.2・卸売業が▲42.9・小売業が▲78.7・飲食業が▲60.0・サービス業が▲56.6・その他の業種が▲66.6となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、飲食業では10.0ポイント改善を見通している。サービス業・その他の業種は現在の水準で推移する見通しである。一方で製造業が30.8ポイント・建設業が17.4ポイント・卸売業28.6ポイント・小売業28.6ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く、51.6%（前期60.0%）、「競争激化」が25.3%（前期18.3%）「人材育成」が20.0%（前期15.7%）、と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、その他の業種で「人手不足」「人件費の増加」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は28社29.5%（前期13.9%）であった。前期と比較して15.6ポイント増加した。業種別では建設業が8社と最も多かった。

業種別では、製造業が15.4%（前期17.6%）、建設業が34.8%（前期24.1%）、卸売業14.3%（前期0.0%）、小売業が28.6%（前期0.0%）、飲食業が30.0%（前期8.3%）、サービス業が30.4%（前期15.6%）、その他の業種では33.3%（前期0.0%）となった。

尾鷲商工会議所地域（調査対象 140 事業所 回答状況 135 事業所）

現 状

令和2年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が9.6%（前期4.3%）、「やや悪い・悪い」が66.7%（前期76.2%）となった。D I値は▲57.1（前期▲71.9）となり、前期調査時に比べ14.8ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲51.6（前期▲61.7）・建設業が▲38.5（前期▲56.5）・卸売業が▲57.2（前期▲80.0）・小売業が▲57.7（前期▲81.3）・飲食業が▲77.0（前期▲100.0）・サービス業が▲76.1（前期▲76.2）・交通運輸業が▲40.0（前期▲40.0）・その他の業種が▲60.0（前期▲85.7）となった。

業種別では前期D I値と比較して製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、その他の業種で改善が見られ、サービス業と交通運輸業がほぼ横ばいとなる結果となった。特にその他の業種についてはマイナス幅が25.7ポイント縮小し、改善が見られた。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が5.1%、「やや悪い・悪い」との回答は51.1%、D I値は▲46.0となった。

現状のD I値（▲57.1）と比較すると、11.1ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲29.0・建設業が▲34.6・卸売業が▲57.2・小売業が▲57.8・飲食業が▲77.0・サービス業が▲47.6・交通運輸業が▲40.0・その他の業種が▲40.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、サービス業が28.5ポイント改善を見通すほか、製造業が22.6ポイント、その他の業種が20.0ポイント、建設業が3.9ポイントの改善を見通し、卸売業、小売業、飲食業、交通運輸業がほぼ横ばいとなる結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題については前期に引続き「売上・受注の停滞減少」が最も多く64.4%（前期63.3%）、「設備店舗の狭小老朽化」が21.5%（前期22.3%）、「原材料高及び不足」が14.8%（前期13.7%）、「人手不足」が14.1%（前期13.7%）、「人材育成」が11.9%（前期9.4%）と上位を占めた。

業種別では、人材育成について製造業では前期5位の14.7%から今期3位の19.4%、建設業では前期4位の13.0%から今期3位の26.9%、へ増加した。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は28社20.7%（前期16社11.5%）であった。前期と比較して9.2ポイント増加した。

業種別では、製造業19.4%（前期11.8%）、建設業11.5%（前期13.0%）、卸売業0.0%（前期0.0%）、小売業3.8%（前期3.1%）、飲食業46.2%（前期25.0%）、サービス業38.1%（前期9.5%）、交通運輸業20.0%（前期20.0%）、その他の業種60.0%（前期28.6%）となり、前期と比較し、その他の業種が31.4ポイントと最も増加幅が大きく、建設業が1.5ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。設備投資を実施した企業数では、サービス業が8社と最も多かった。

熊野商工会議所地区（調査対象184事業所 回答状況70事業所）

現 状

令和2年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が11.4%（前期8.2%）、「やや悪い・悪い」が71.5%（前期77.7%）となった。D I値は▲60.1（前期▲69.5）となり、前期調査時に比べ9.4ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲90.9（前期▲75.0）・建設業が▲20.0（前期▲14.3）・卸売業が▲25.0（前期▲75.0）・小売業が▲63.7（前期▲50.0）・飲食業が▲62.5（前期▲84.6）・サービス業が▲62.5（前期▲100.0）・交通運輸業が▲100.0（前期▲100.0）・その他の業種が▲66.7（前期▲50.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して卸売業・飲食業・サービス業で改善が見られた。特に卸売業については、マイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方で、製造業・建設業・小売業・その他の業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が2.9%、「やや悪い・悪い」との回答が64.3%、D I値は▲61.4となった。

現状のD I値（▲60.1）と比較すると、1.3ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲45.5・建設業が▲50.0・卸売業が▲25.0・小売業が▲77.3・飲食業が▲37.5・サービス業が▲75.0・交通運輸業が▲100.0・その他の業種が▲83.3となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が45.4ポイント・飲食業25.0ポイント・改善を見通すほか、卸売業・交通運輸業が現在の水準で推移する見通しである。一方で建設業が30.0ポイント・小売業が13.6ポイント・サービス業が12.5ポイント・その他の業種が16.6ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く57.1%（前期67.1%）、「設備店舗の狭小老朽化」が20.0%（前期22.4%）、「人手不足」が15.7%（前期16.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、建設業が、前期1位「人手不足」71.4%から今期1位「売上・受注の停滞減少」40.0%に変動した。

「売上・受注の停滞減少」の課題が表面化している状況が窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は11社15.7%（前期11.8%）であった。前期と比較して3.9ポイント増加した。業種別ではその他の業種4社、建設業・小売業が2社であった。

景況調査票

令和3年1月

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1 業種 (主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
〈建設業〉	6.化学製品	7.土石業	8.印刷・出版	9.その他	
〈卸売業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈小売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈飲食業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈サービス業〉	21.飲食店				
〈交通運輸業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他		


2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について


3 現状について…令和2年7～12月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪い	い	5. 悪	い
------	---	--------	---	----------	---------	---	------	---

理由: 

4 今後の見通しについて…令和3年1～6月の業況は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 良	い	2. やや良	い	3. 変わらない	4. やや悪い	い	5. 悪	い	6. わからない
------	---	--------	---	----------	---------	---	------	---	----------

理由: 

5 売上状況について…令和2年7～12月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

6 売上の見通しについて…令和3年1～6月の売上は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

7 利益状況について…令和2年7～12月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや増	加	3. 変わらない	4. やや減	少	5. 減	少
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

8 販売条件(単価・決済方法)について…令和2年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

9 仕入条件(単価・決済方法)について…令和2年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. 仕入なし
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	---------

10 設備投資について

令和2年7～12月の実績		令和3年1～6月の予定	
1. 行った	2. 行わない	1. 予定あり	2. 予定なし



11 資金繰りの現状について…令和2年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---

12 資金繰りの見通しについて…令和3年1～6月は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 好	転	2. やや好	転	3. 変わらない	4. やや悪	化	5. 悪	化	6. わからない
------	---	--------	---	----------	--------	---	------	---	----------

13 借入の現状について…令和2年7～12月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容	易	2. 普	通	3. 困	難
------	---	------	---	------	---

14 借入予定はどうか…(令和3年1～6月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

14-① 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

14-② 資金用途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

15 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

()

御協力ありがとうございます。